

下妻市シティプロモーション 戦略プラン



わたしらしく暮らせるまち

Let's find a lifestyle like oneself

子育てやしごと、日々を楽しむ環境がととのっているから、
ふと、「下妻って、いいなあ。」
と口ずさみたくなるんです。

下妻市シティプロモーション 戦略プラン

CONTENTS

- 2 INTRODUCTION
- 3 データで見る下妻市
- 4 下妻市ってどんなイメージ？徹底解剖！
- 5 下妻市シティプロモーションがはじまります！
 - 基本方針 1
 - 基本方針 2
 - 基本方針 3
- 12 下妻市シティプロモーションの推進体制
- 3 年ロードマップ
- 13 市長ご挨拶



策定の背景

下妻市シティプロモーション戦略プラン（以下、本戦略という。）は、本市に対する市民の愛着やシビックプライドを醸成するとともに、市内外における認知度や関心の向上、移住・定住人口や交流人口の増加を図ることで、良好な都市イメージを形成し、多くの人から「選ばれるまち」を目指すことを目的として策定するものです。

本戦略の位置付け

本戦略は、「第6次下妻市総合計画」及び将来にわたって「活力ある地域社会」の実現を基本的な考え方として策定した「第2期下妻市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のほか、関連計画等と密に連携を図りながら、本市におけるシティプロモーションの考え方や方向性を示すものです。



INTRODUCTION

早速ですが、 下妻市をご紹介します。

突然ですが、下妻市って聞いたことありますか？
茨城県の西のほうにあって、都会過ぎず田舎過ぎず。
ちょうどいい暮らしができる場所なんです。

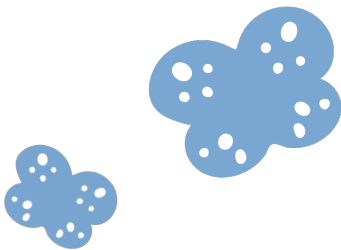
関東平野を一望する紫峰「筑波山」が近いことから、天気
のいい日は雄大な山がきれいに見えるし、田んぼや畑が広
がる風景もどこかホッとします。

意外と知られていないですが、実は東京など近隣へのアク
セスも良くて、最近は移住してくる人も増えているほど。
やっぱり、このちょうど良さに惹かれるんでしょうね。

地元の名物といえば「梨」。
県内でも有名な産地で、甘さとジューシーさが自慢です。

のんびりとした空気の中で、自然に囲まれながら子育て
したり、お仕事したり、自分のペースで暮らしを楽しみたい
！という人にはぴったりの場所です。

そんなステキなまち、下妻市へ見に来て、食へに来て、
体験しに来ませんか。皆さんのお越しをお待ちしています。



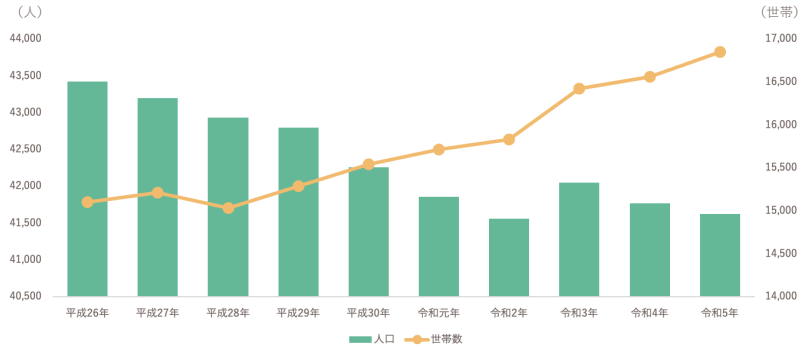
データで見る下妻市



出典：
下妻市常住人口結果

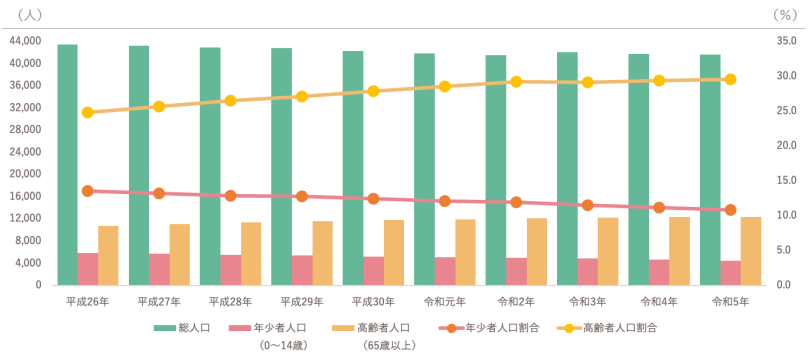
1 人口及び世帯数

下妻市の人口は年々減少傾向にある中、世帯数は増加を続けています。核家族化の進行に伴い1世帯あたりの人員が減少傾向にあることから、移住・定住人口増につながる施策が求められます。



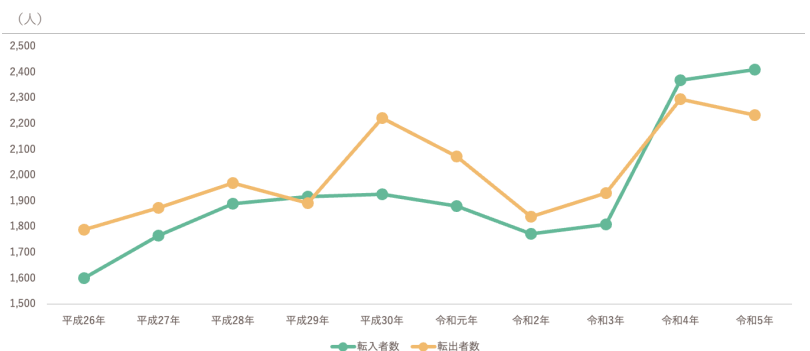
2 少子高齢化

高齢者人口割合は10年間で約5ポイント増え、年少人口割合は約3ポイント減少するなど、少子高齢化が進行していますが、いつでも、いつまでも「わたしらしく」暮らせる下妻市であることを伝え、実践することで、暮らす人が楽しいまちであることが重要です。



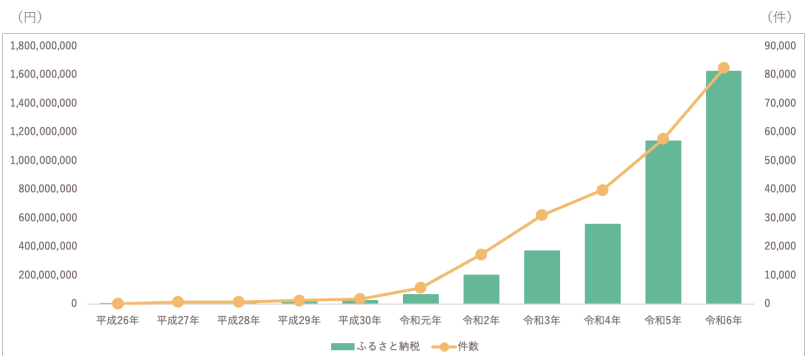
3 転入者と転出者

令和3年まではほとんどの年で、転出超過となっていました。令和4年には5年ぶりに転入超過に転じ、令和5年もその傾向を維持しています。選ばれるまちとして引き続き魅力を伝えていく必要があります。



4 ふるさと納税

平成20年度から受付を開始したふるさと納税は全国の皆さまからの寄附のおかげで、令和6年度には82,467件、16億2,374万3,400円（令和7年2月末時点）となり、成長を続けています。



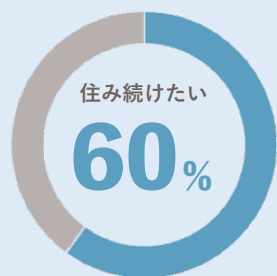


下妻市ってどんなイメージ？ 徹底解剖！

出典：
総合計画策定に関わる意識調査

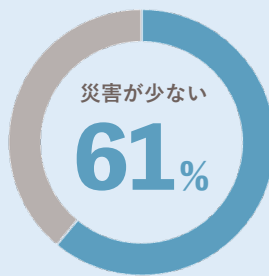


Q1 そもそも、下妻って 住みやすいの？



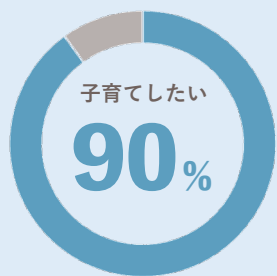
市民アンケートでは「住み続けたい」と答えた方が60.2%。こうした実感をもっと市外の方にも伝えていくことで、下妻の魅力アップにつながっていきます。

Q2 住んでてよかった～ と思うところは？



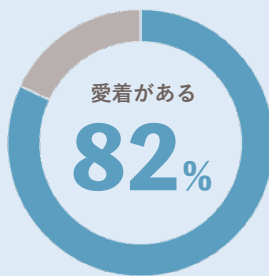
下妻市が住みやすい理由として最も多いのは「災害が少ない」が61.0%。安心・安全に日々を送ることができるってとても重要なポイントですよ。

Q3 子どもを育てやすい 環境なの？



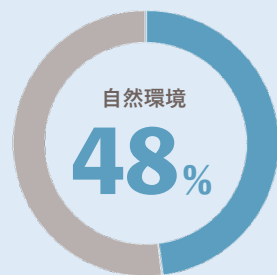
今後もこの地域で子育てしていきたいと思う保護者の割合はなんと90%を超えました。「下妻は子育てしやすいよー」と胸を張って伝えていきます。

Q4 高校生はどれくらい 下妻が好き？



市内在住高校生へのアンケートでは「愛着を感じている」割合が82.6%。次代を担う世代が感じる地元愛をこれからも大切に育んでいきます。

Q5 住んでみたいな～ と思うところは？



市外に暮らす皆さんに下妻市に住んでみたい理由を聞くと、「自然環境に恵まれているから」が48.3%で最も多く1位に。他にも魅力がたくさんなので、ぜひ住んでみてね。



実は、まだまだあります！ 下妻の魅力あれこれ

住みやすさや自然環境、利便性だけじゃない、魅力がほかにもたくさんあるんです。

- 梨の生産量が県内トップクラス
出典：令和4年市町村別農業産出額（推計）
- 映画『下妻物語』（2004年公開）の舞台でロケ地巡りを楽しめる
- 市内の「大宝八幡宮」は関東最古（701年創建）の八幡宮とされ、歴史的価値が高い



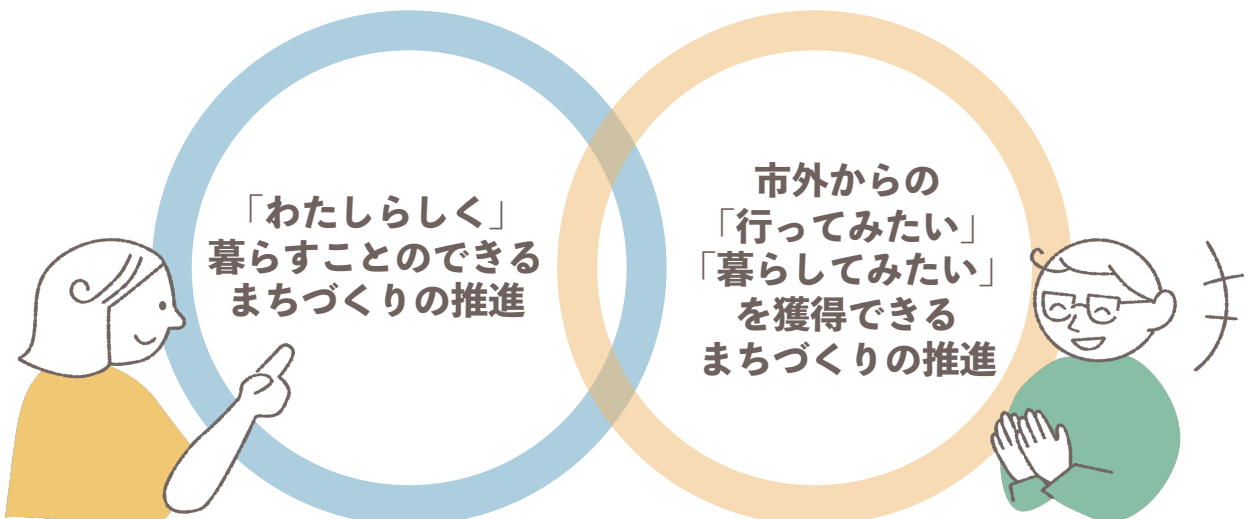
「わたしらしく暮らせるまち」を目指して

下妻市が今後発展するためには、市民の皆さんが日々を楽しく暮らしていること、そして、そうした確かな実感を丁寧に届けていくことが大切であり、また、市外から本市に関わっていただく観光や移住定住の視点も不可欠です。そのために下妻市にできること。それは、一人でも多くの方が「わたしらしく暮らせる」ための取り組みを進めるとともに、対外的な発信に努めることで、市内外の認知を高めていくシティプロモーションであると考えています。

..... 目的

**地域の認知度向上と移住・定住の促進、
地域ブランドの構築と地域住民の愛着醸成、
地域活性化へ寄与すること**

..... 主な取り組み





下妻市内で乳幼児を育てている
現役子育て世代



移住・定住を考えている
市外在住者

..... 基本方針



基本方針

しもつまブランドの確立

「わたしらしく暮らせるまち」としての認知度の向上及び実感を促すため、他市町に負けない下妻ブランドを確立する。



基本方針

しもつまファンの拡大

ライフステージごとのライフスタイルのニーズに応えられるまちとして、各種サービスの提供及び欲しい情報の発信に努める。



基本方針

“オールしもつま” による推進体制

市民や企業・団体など、行政だけでなく、下妻市を構成する全員を巻き込み、全員が担い手となれる推進体制を構築する。



基本方針 1

しもつまブランド の確立

この度、本市の魅力を再認識し、市民一人ひとりが自分らしく暮らすことのできるまちづくりを推進するための大切なブランドメッセージ（指針）ができました。今後は、このメッセージを基盤に、地域資源を最大限に活用したさまざまな取り組みを展開していきます。

下妻スタイル

このまちには、心がほころぶ時間が流れている

鬼怒川 小貝川 砂沼湖畔の豊かな水と
四季の花の香りは心に癒しを
肥沃な大地で育った作物はカラダに元気を
見上げると雄大な筑波山が
わたしに今日も勇気をくれる

さあ エネルギーをチャージしたら
レトロな車両にゆられ出かけよう
家族 友だち 仲間と一緒に
ときには 一人を楽しむ
好きな場所で 好きなこと

「下妻って、いいなあ。」

わたしらしく暮らせるまち
それが下妻スタイル



下妻スタイル

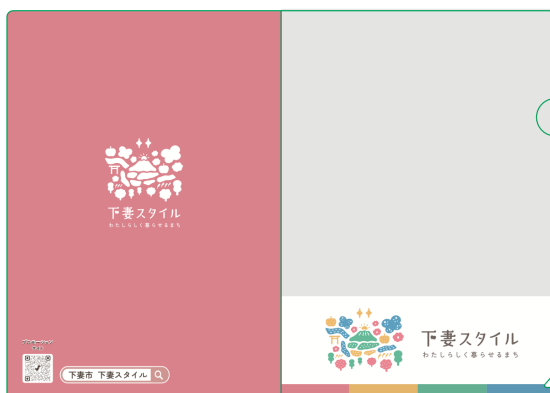
わたしらしく暮らせるまち

下妻の自然や名所、特産品などを手描きのシンプルなイラストで表現。
よく見ると、全体がオオムラサキのフォルムに。
自分らしく自由にはばたける下妻市をやわらかい雰囲気で表現しました。

..... 展開イメージ



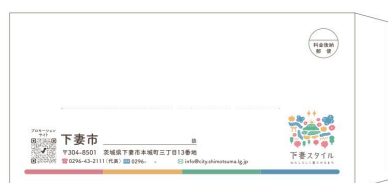
トートバッグ



クリアファイル



マスキングテープ



封筒

基本方針 2

しもつまファンの の拡大

下妻市が持つ個性と独自性を大切に、市民一人ひとりが自分らしく暮らせる環境を整えることを目指すとともに、内部からも、外部からも新たなファンを拡大し、地域の活力を高めるためのさまざまな活動を推進することで、暮らしやすく、訪れたいまちづくりを進めていきます。

子育てするなら下妻だよね！の輪を広げる

下妻市では関係各課が垣根を超えて、妊娠期から出産、就学前までの家庭相談を行うなど、切れ目のない支援の充実に努めています。また、グローバル人材の育成を目指す「英語教育のまちづくり」を推進するなど、多様性を学び、子どもたちが自分の世界を広げていけるサポートにも力を入れています。今後も子どもを産み育てたいと思える下妻市であるための取組を展開します。



次の週末は下妻に行こうよ！の定着を図る

市外から本市を訪れる方の大半は「買い物」を目的としている一方、「観光・レジャー・スポーツ」を求めて訪れる方もいます。本市には、日本を代表する筑波サーキットや小貝川ふれあい公園、砂沼広域公園など、年間を通して魅力的な資源がたくさんあるため、ニーズを捉えたコンテンツ造成やイベントの開催を推進します。



シモンちゃんの認知度を全国区に

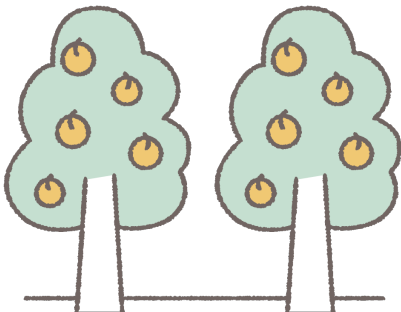
本市には、国蝶に指定されているオオムラサキの生息地があり、市が保護活動をしていることから、オオムササキをイメージしたキャラクター「シモンちゃん」がいます。今後は、ブランドメッセージと連動したコンテンツや新たなグッズ制作、イベント出演等を通じて、シモンちゃんの認知度を高める活動に力を入れていきます。



下妻市イメージキャラクター
シモンちゃん

特産品のブランド価値を高める

全国でも有数の産地として知られている「梨」をはじめ、豚肉、米、きゅうり、すいかなど、本市は農業大国・茨城の一端を担っています。今後さらなるブランド価値向上に向けて、海外を含めた販路拡大やふるさと納税返礼品の新規開拓など、SNS等を効果的に用いたプロモーションを展開します。



目標指標

指標	現状値	目標値 (令和9年)
ママサポしもつまアプリ登録者数	947件 (令和6年)	1,200件
今後もこの地域で子育てしていきたいと思う保護者の割合	90% (令和4年)	93%
観光入込客数	1,300,000人 (令和4年)	1,750,000人
シモンちゃんの活用件数	11件 (令和5年)	20件
ふるさと納税申込件数	50,000件 (令和4年)	110,000件

基本方針 3

“オールしもつま” による推進体制

..... それぞれの役割

民間企業及び 団体等

シティプロモーションは自治体と民間企業が共同で取り組むことで、より効果が高まる。地域の魅力をアピールできるような商品企画の提案や、ターゲットのニーズを理解した効果的なプロモーションを行うことが大切。民間企業の持つノウハウを活用してシティプロモーションを推進していく。

市民

市民の皆さんは、下妻市の魅力を再認識・再発見し、一人ひとりがまちへの愛着と誇りを持ちながら、自らもシティプロモーションを推進する役割を担っているという意識で積極的な活動に努めること。そして、何よりも下妻での暮らしを楽しみながら発信することを忘れず、一人でも多くの方にまちの良さを伝えていく。

下妻市

本市が実施する各種事業において、シティプロモーションの視点を積極的に取り入れ、これまで以上に魅力あるまちづくりを実現するための情報発信に力を入れるとともに、民間企業や団体等、市民が行う活動を積極的に支援すること。そして、職員一人ひとりがシティプロモーションの担い手である意識を強く持ち、業務を遂行する。

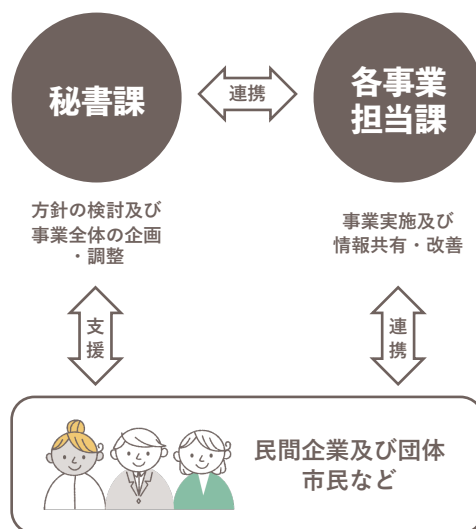


「わたしらしく暮らす」ために何ができる？を、
それぞれが考え、実行することが大切。

..... 下妻市シティプロモーションの推進体制

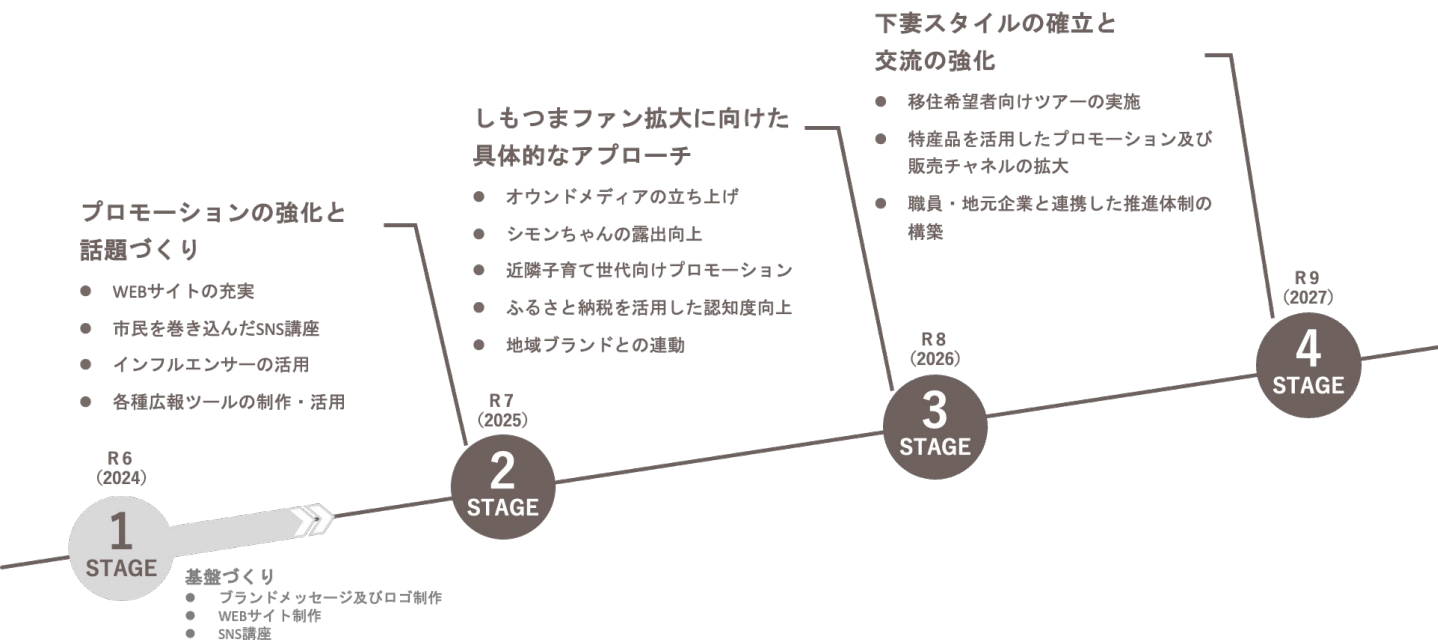
本市がシティプロモーションの各施策を進めるためには、担当であるシティプロモーション係や親和性の高い観光施策や移住・定住施策の担当課だけが取り組むのではなく、市組織全体として意識を合わせて取り組むとともに、職員一人ひとりが自主的に情報発信や行動を実践することが大切です。

今後は、市民、事業者など、地域のさまざまな主体とともに取り組むシティプロモーションを展開し、互いに発信力を高めていきます。また、市は全庁体制で推進するとともに、各部門の連携を高め、シティプロモーションに対する一層の機運醸成を図っていきます。



..... 3か年のロードマップ

下妻市シティプロモーション戦略プランの実施期間は、第6次下妻市総合計画の計画期間との整合を図るため、令和9年度までの3か年で考えており、プロモーション施策の立案・実施後は成果を計測し、PDCAサイクルを回していきます。



MAYOR'S MESSAGE

市長ご挨拶

下妻の魅力を再発見してほしい

私たちの美しい下妻市は、東京から約60kmの距離に位置し、都心へのアクセスも良好です。また、水と緑に恵まれた田園風景が広がる、とても住みやすいまちでもあります。こうした魅力を、より多くの方々にお伝えしたいと考え、新たにロゴマークとブランドメッセージを作成いたしました。

ロゴマークには、私たちのまちを優しく見守る筑波山、東西を流れる鬼怒川と小貝川、中央に位置する砂沼、さらには米や梨といった豊かな農産物、そして広い空を舞うオオムラサキが描かれています。このデザインは、「下妻」を優しく表現したものです。

ブランドメッセージでは、下妻に暮らす人々の心の声を反映し、温かさや思いやり、豊かな心を感じていただける内容となっています。このロゴマークとメッセージを通じて、下妻の魅力を再発見していただければ幸いです。

今後は、このロゴマークとブランドメッセージのもと、市民の皆さまに知られているようで知られていなかった下妻の魅力をお届けしたいと考えております。また、市外の方々にも本市の素晴らしい住環境を知っていただくために、シティプロモーションに力を入れてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。





下妻市長
菊池 博





下妻スタイル

わたしらしく暮らせるまち

下妻市シティプロモーション戦略プラン

2025年3月

編集／下妻市役所 市長公室 秘書課

発行／茨城県 下妻市

〒304-8501 茨城県下妻市本城町三丁目13番地

TEL／0296-43-2112 FAX／0296-43-1960

<https://www.city.shimotsuma.lg.jp>